

## 9月定例会



# 57年度各会計決算を認定

## 補正予算は十六億円を追加

決まった主なもの

市長提出

## 昭和57年度 北九州市決算状況

区分	一般会計	普通特別会計 (国保など22会計)		企業会計 (上水道など4会計)	
		歳入(A)	歳出(B)	歳入(A)	歳出(B)
歳入(A)	3,410億8,706万円	2,493億 39万円	収 入(A)	489億6,330万円	
歳出(B)	3,352億5,545万円	2,465億3,648万円	支 出(B)	512億5,809万円	
形式収支 (A-B=C)	58億3,161万円	27億6,391万円	差引収支 (A-B=C)	△ 22億9,479万円	
繰り越すべ き財源(D)	17億4,716万円	9,828万円	補てん財源等(D)	40億4,534万円	
実質収支 (C-D)	40億8,445万円	26億6,563万円	単年度実質収支 (C+D)	17億5,055万円	

◎五十八年度北九州市補正予算

・一般会計

一五億九、八五九万円

・普通特別会計

四、六一〇万円

・総額

一六億四、四六九万円

◎北九州市産業観光施設の設置及び管理に関する条例の一部改正  
環境庁の国民宿舎利用料標準の改定に伴い、これに準じて本市の国民宿舎使用料を改定するもの

◎北九州市住宅新築資金等貸付条例の一部改正  
国の住宅新築資金等貸付制度要綱の一部改正に伴い、関係規定を改めるもの

◎北九州大学条例の一部改正  
北九州大学の授業料等の適正化を図るため、関係規定を改めるもの

◎土地の取得  
小倉南区大字田原に所在する土地を文化記念公園用地として買い入れるもの  
面積 一万二、四四一・一七平方メートル

## 議員提出

◎平尾台の自然保護等に関する意見書

◎医療保険制度の改正に関する意見書

◎福岡財務支局の存続に関する意見書

◎国定公園「平尾台」の天然記念物及び文化財の保護についての決議

◎非核・平和都市宣言

昭和五十八年九月北九州市議会定例会を、九月八日から九月三十日までの二十三日間の会期で開きました。  
今議会に市長から提出された議案は、五十七年度北九州市一般会計決算など五十四件でした。  
九月十二日の本会議において、四人の議員がこれらの議案について質疑を行った後、決算関係議案を決算特別委員会に、その他の議案を所管の常任委員会に付託し、慎重に審査しました。  
その結果、決算議案を九月二十七日の本会議で認定し、その他の議案を九月三十日の本会議において、すべてを可決しました。  
一方、議員から提出された議案は、六件で、そのうち五件を可決しました。

# 質疑 応答



本会議で十五人の議員が、市長から提出された議案に対する質疑や、市政全般について質問を行いました。その中から主なものをとり上げました。

## 決算の内容

### をめぐって

#### 市税徴収率の 向上を

議員 市税の徴収率は、五十三年度をピークに低下しています。市税は、市財源の中心であり、財源確保については最大限の努力を払うべきものと考えますが、どのような対策をとっていますか。

市長 景気の停滞を反映して、市税の徴収率は向上していません。徴収率の向上を図るため、新規滞納の発生防止、口座振替加入者の拡大、納税指導担当主査の配置などの措置を講じています。今後とも財源確保の観点から重要な課題であり、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

議員 本市の市債残高は、全会計を合せて、五千六百九十六億円で、前年度に比べ四百五十五億円増加となっています。このような状況が続くと、財政

#### 財政の 健全性は

議員 本市の市債残高は、全会計を合せて、五千六百九十六億円で、前年度に比べ四百五十五億円増加となっています。このような状況が続くと、財政

健全性を確保する上からも好ましくないと考えますが、どのように考えていますか。

市長 市債残高の増加は、全国的な傾向です。本市の場合、市民一人当りの市債残高は、指定都市で六番目となっています。しかし、公債費が増加することは、財政の弾力性を損うこととなるので、起債事業については慎重にとり上げていかなければならないと考えています。

また、剰余金が生じれば、財政調整基金や公債償還基金等に積み立てるとともに、市債の繰り上げ償還を検討していく考えです。

議員 本市財政も、超緊縮の国家予算の影響をうけてますます苦しくなっていくことが予測されていますが、市長の福祉の後退はしないとの言明に強い期待を寄せているところです。厳しい財政状況の中で、福祉水

#### 福祉水準の 維持を

議員 本市財政も、超緊縮の国家予算の影響をうけてますます苦しくなっていくことが予測されていますが、市長の福祉の後退はしないとの言明に強い期待を寄せているところです。厳しい財政状況の中で、福祉水

準の維持についてどのように考えていますか。

市長 国では、高齢化社会が進んでいくに伴う支出増を避けるため、年金、医療制度等について、制度の基本をいかしながら福祉施策の見直しを行っています。市では、高齢者の医療費無料化制度に一部負担を導入せざるを得ませんでしたが、国の影響をできるだけ市民生活に及ぼさないよう対応しているところです。

また、国における行政改革については、基本的に賛成の立場で臨んでいます。国の負担を地方に転嫁するような動きには、賛成できません。

議員 一般会計決算と特別会計決算で、二百三億円余りの不用額がでています。前年度と対比すると不用額が増加していますが、その理由はどのようなものですか。

市長 不用額は、生活保護等の対象者の減少や医療給付費が予定を下回ったこと、また、福祉医療特別会計の廃止により繰出金が不用となったことなどにより生じたもので、いずれもやむを得ない事情に基づくものです。いずれにしても、不用額が多く生じることは好ましくないため、今後とも事業の適正な執行に努めていきたいと考えています。

#### 不用額の 理由は

議員 一般会計決算と特別会計決算で、二百三億円余りの不用額がでています。前年度と対比すると不用額が増加していますが、その理由はどのようなものですか。

市長 不用額は、生活保護等の対象者の減少や医療給付費が予定を下回ったこと、また、福祉医療特別会計の廃止により繰出金が不用となったことなどにより生じたもので、いずれもやむを得ない事情に基づくものです。いずれにしても、不用額が多く生じることは好ましくないため、今後とも事業の適正な執行に努めていきたいと考えています。

議員 本市財政も、超緊縮の国家予算の影響をうけてますます苦しくなっていくことが予測されていますが、市長の福祉の後退はしないとの言明に強い期待を寄せているところです。厳しい財政状況の中で、福祉水

#### 総合基幹病院の 建設計画は

議員 地域医療の中核的役割をになう総合基幹病院の建設計画については、去る八月九日に答申が出されたところでです。この答申の内容については、すでに報道されていますが、総合基幹病院建設の具体的な計画についてお聞かせください。

病院局長 今後の建設計画については、まず答申にそったマスタープランを策定して、基本設計、実施設計という段階を経て着工となります。建設場所は、答申の指摘もあり、市民が利用しやすく、交通の便利な所ということで、市立小倉病院の敷地を中心にして計画をたてることとなります。基幹病院は、高層化によって敷地を有効に利用し、病院内外の緑化等、都市景観に配慮しながら建設に取り組んでいきたいと考えています。

資金計画については、厳しい財政事情の折から長期見通しをたて、関係先と十分に協議して財源の確保に努めていきたいと思ひます。

#### モノレール

##### 全線試運転へ —五十九年六月—

議員 徳力地区のモノレール建設予定地には、まだ家屋移転が完了していない箇所が見受けられますが、現在の状況で、五十九年十二月の開業に間に合うのですか。また、開業時までに関連道路な



試験運転中のモノレール

どの整備は終わるのですか。

市長 懸案となっていた徳力公団前停留場も七月に着工し、全停留場で工事が進んでいます。支柱工事については、徳力地区で六戸、他地区で七戸の家屋の移転交渉が終っていないため、一部未着工となっています。十二月までに、この家屋移転の話がまとまれば、来年三月までに支柱工事が完成し、六月に全線の試運転ができることとなります。

そうすれば、来年十二月の開業目標が達成できることになり、現在、日夜努力しているところです。

なお、現在の試験運転区間を、来年の三月初旬には、徳力嵐山口停留場まで延ばす予定です。

都市計画局長 停留場周辺の整備については、乗降客の不便にならないようにモノレール開業時までに完了させたいと考えています。

### 厚生年金会館周辺の道路整備は

**議員** 市民が待ち望んでいた厚生年金会館が来春オープンします。会館周辺には、勝山公園や小倉城などの市民の憩いの場、また市民の利用の多い中央図書館などの施設があります。

会館の完成に伴い、この地区周辺には、さらに多くの市民が集まることになると思いますが、周辺道路の整備計画はどのようになっていますか。

**市長** 厚生年金会館は、来年四月頃オープンの予定で、これにあわせて周辺道路の整備を行います。具体的には、会館の正面の道路は、今年度中に現在の歩道三メートルを十メートルに拡幅し、カーブ舗装や植樹を行います。また、会館の裏の道路については、コミュニティ道路として、



来春オープンする厚生年金会館

でに工事に着手しており、十二月末に完成の予定です。この道路は、幅員八メートルを十一メートルに拡幅し、車道は三メートル幅で一方通行のシグザグ道路とします。歩道は、カラー舗装や植樹を行い、デザインの優れた照明灯を設置します。

### 山田弾薬庫跡地の早期利用は

**議員** 山田弾薬庫跡地の早期利用は地域住民をはじめ市民の大きな願いです。

本年三月のこども広場のオープンなど跡地利用は著しい進展を示していますが、今後とも防衛庁や大蔵省に強力に働きかける必要があると思いますが、どのようにお考えですか。

**市長** 長い間国に働きかけてきましたが、三分割を内容とする市議会の決議が事態を大きく転換させることになったと考えています。また、本年三月の参議院予算委員会で大蔵大臣が防衛庁から弾薬庫以外の使用について検討の用意があるやに聞いていたという非常に前進した答弁をされるなど、前途に明るい見通しを持っています。今後なお一層、大蔵省福岡財務支局を通じての働きかけなど多様な運動を続けていく考えです。

### 勤労体験学習を児童、生徒に

**議員** 児童、生徒に勤労を体験させることは、勤労に対する喜びや、その意義を体得させるばかりでなく、強い意志や忍耐力の養成

に役立ちます。また、児童、生徒と教師が心を一つにして汗を流して働くことは、児童、生徒間はもちろんのこと、教師との人間的なふれあいを深めることになり、校内暴力をはじめ、青少年の非行を防ぐ大きな働きをするものと思われれます。

さいわい、市街地の近くにも休耕田がいたるところにあり、学校の勤労体験的な学習の場に活用できないでしょうか。

**教育長** 学校裁量時間等を活用して芋や豆を作っている学校もあります。また、休耕田を利用したものとしては、県の指定校が一枚あります。しかしながら、十分に普及しているとは思えません。教育上の意義もあり、今後は農作業などをとり入れた勤労体験学習を更に拡充する方向で検討していきたいと考えています。

### おひさまの家の増設を

**議員** 豊かな自然環境の中で児童の健全な育成をはかるため、緑地保育センター（通称おひさまの家）が、五十年に若松区に開設され、父母に大変喜ばれています。しかし、ここ数年の利用状況をみると、もはや市民の要望に応じきれなくなってきたと思われ

ます。父母はもとより幼児教育や保育の関係者は、新・新中期計画に予定しているセンターの増設を切に望んでいます。利用者の利便等を考えると市の東部に位置を決定すべきと考えま



おひさまの家

の一部が利用されています。下水処理水の利用は、省資源、省エネルギー対策からも重要であり、経済的にも大きなメリットがあります。

この有効利用については、現在、財団法人造水促進センターが雑用水の利用調査と下水再生利用技術の開発調査を行っています。この調査の結果、実用の可能性が立証されると、工業用水への利用の道が開かれるものと期待しています。

**使用料を値上げ**  
— 国民宿舎 —  
**議員** 国民宿舎の使用料を、十一月一日から二三パーセント引き上げる議案が提案されています。大幅な引上げをする前に、国民宿舎の日常の運営面の改善と経営努力が必要だと思いますが、どのように考えていますか。

**経済局長** 県内の他の国民宿舎は、四月一日から値上げを実施しています。本市の場合は、経営努力により使用料を据え置きましたが、諸物価の上昇等に対応して国民宿舎の健全な運営とサービスを確保するため、今回やむなく値上げを行うものです。しかしながら、従来徴収していた冷暖房料は廃止します。実質十五・六パーセントの値上げになります。

今後とも、運営面や施設の改善並びに従業員の接客マナーの向上を図るなど、魅力ある国民宿舎にするよう努力していきたいと考えています。

### 下水処理水の利用促進を

**議員** 下水処理場から放流される二次処理水は、全処理場を合わせると一日当り四十三万トンもの量に達しています。水は限りある資源といわれていますが、この有効利用についてどのように考えていますか。

**下水道局長** 下水処理水は、すでに工業用水や雑用水として、そ

### 先端産業の 技術者養成を

議員 半導体関連企業を目指す経営者にとって、市内にその基礎的技術を習得するための教育訓練の場がなく、技術者の確保と養成がもつとも重要な課題となっております。

この問題を解決するため、基礎講座や実験、実習を内容とする技術者養成コースを作る考えはありませんか。

市長 中小企業の技術者養成については、社団法人九州機械工業振興会と北九州地区職業訓練協会に、技術研修の委託や助成を行っています。

振興会では、本年度マイクロコンピュータを購入し、マイコン講座を開講しています。

先端技術に対応できる技術者の養成は、本市の産業構造を転換していくうえにも極めて重要なことであります。近く、中小工業技術振興会を発足させ、これらの問題も協議をお願いしますので、具体的な施策を提案していただけるものと思っております。

議員 九州工業大学においては、技術開発センター設置の構想があると聞いていますが、市はどのように対応されますか。

市長 技術開発センターは、国が設置するものですが、これは本市の産業技術の進展に大きく寄与するものと期待しています。

大学と連携をとりながら、国に對しその実現を要請していきたいと考えています。

### 決算特別委員会の審査から

九月十二日に設置された決算特別委員会は、三つの分科会に分かれ、六日間にわたって審査を行いました。この委員会では、五十七年度予算は適正に執行されたかなどを審査するため、当局との間で活発な質疑応答が行われました。その中から主なものをとり上げました。

#### 第一分科会

##### 県費補助の増額を

— 国民健康保険事業 —

委員 国民健康保険事業に対する県の補助金は、他の指定都市と比較すると大きな差があります。補助金を大幅増額するよう要請する必要がありますが、どのように考えていますか。

また、保険料の徴収率が年々低下していますが、どのような対策をとっていますか。

当局 毎年、県に対する予算陳情の際、増額要求をしてきましたが、指定都市については財政力が強いということから実現に至っていません。

今回、母子家庭医療制度の新設にあたり医療費の二分の一の助成措置が定められたので、これを機会に県に対し積極的に働きかけていきたいと考えています。

また、保険料の徴収率向上対策として、国民健康保険対策会議の設置や滞納担当主査の配置をすすめた結果、徴収率の低下に歯止めをかけることができました。今後とも徴収率の向上に努めていきたいと思っております。



分科会の審査風景

#### 第二分科会

##### 北九州港の 振興策は

委員 北九州港は、前年に比べ、船舶数、貨物量が減少しています。地域経済浮揚のためには、港湾の振興が不可欠です。どのような振興策を考えていますか。

また、港湾行政と密接な関係をもつ九州運輸局本局の本市誘致について、どのように取り組んでい

るのですか。

当局 五十七年は、北九州港だけでなく、他の主要港も伸び悩んでいます。このような中で北九州港では、コンテナ貨物は増加しています。

これまでも、北九州港・下関港航路集貨対策委員会の活動を通じ、集貨に努めてきました。今後は、好調なコンテナ貨物を中心に誘致をしていきたいと考えています。

また、陸運局と海運局の統合に伴う九州運輸局本局の設置場所については、十二月頃までに結論が出される予定になっています。本市に設置されるよう関係自治体とともに、運輸省や国会議員などに陳情を行っています。

#### 第三分科会

##### 平尾台の 自然保護は

委員 平尾台は、開発により文化財が失われています。

平尾台の自然や文化財を永く保存するため、市が積極的に民有地を買収する必要があるのではないのでしょうか。

また、広谷湿原では、自然保護対策が十分でなかったために、貴重な植物が枯れる等の被害が出ています。観察路の設置や監視員の配置等の対策を講じるべきではないでしょうか。

当局 民有地については、国に補助金の拡充を要望しながら、学術的価値の高い所から買い上げていきたいと思っております。また、広谷湿原は、北九州国定公

園第一種特別地域となっており、指定された植物の採取等の行為は県知事の許可が必要です。

県は、監視体制を強化し、柵の設置、湿原の出入り制限等を行う方針です。

##### 常任委員の変更

経済港湾委員

山家 節夫 (旧文教建築委員)

文教建築委員

井生 猛志 (旧経済港湾委員)

いずれも九月八日付

##### 人事紹介

九月定例会で、次のかたがたが決まりました。(敬称略)

北九州市固定資産評価審査委員会委員

芳賀 晨寿 友塚 実

柿西 悟 柴田 浩一

権藤 清 田中 正弘

人権擁護委員候補者

原田 信子

北九州市選挙管理委員

小川 岩雄 土屋 正信

嶋津 募 平野 氏英

門司区選挙管理委員

藤川 欣佐 村岡 常雄

永松 静 道原 勝人

若松区選挙管理委員

吉住 長雄 富重 芳子

大庭 章 玉井 賢

戸畑区選挙管理委員

加末 義韶 下河邊建五

田川アヤ子 安田 嘉治